

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393800103
事業所名	グループホーム 希望の泉

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	朝・夕の散歩時には、行き交う地域の住民と挨拶を交わし、顔馴染みの人とは会話が弾む。 地域の夏祭りには、利用者が職員と連れだって出かけている。 ホームの夏祭りには、区長を通して地域に参加を呼び掛けたが、参加者はなかった。今後の呼び掛け方法を検討している。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	運営推進会議を「希望の会」と命名して、年間6回開催している。 冬場のインフルエンザの流行によって、会議が中止となることを回避するため、5月、7月、8月、10月、11月、12月の変則開催としている。 利用者、家族、市・介護保険課、地域包括支援センター、区長、民生委員にホーム関係者が加わり、活発な会議運営である。	○
重点項目 ③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	毎回、運営推進会議には、市・介護保険課と地域包括支援センターの職員の出席があり、有益な情報提供や助言がある。 生活保護受給者の利用(共用デイ)があり、市の担当課とも連携している。 介護相談員の受け入れをしており、毎月2名の相談員が来訪して利用者の話を聞いている。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	ホーム運営に協力的な家族が多く、様々な機会を通して意見や要望を聞き取っている。 家族会を兼ねた運営推進会議には、家族が多数参加する。 利用者のほぼ全員が参加する1泊旅行(浜松～舘山寺温泉宿泊～蒲郡)には3名の家族が同行し、職員を含めて33名の大集団での旅となった。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	◎